

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2019年3月15日

No.16

2019 JR 総連春闘 妥結

ベア 200円を勝ち取る！

<申第7号 妥結内容>

○定期昇給4号俸実施（平均5,448円 2.23%）

○ベースアップ200円

○55歳以上の社員について基本給にベアを含む3,200円を加算

○契約・臨時社員の基本給を定期昇給分（2.23%）増

+ベア200円引き上げ

○嘱託社員・常勤嘱託社員について基本給にベア200円を加算

◇申第8号 諸要求については以下の項目の前進を確認◇

- ・扶養手当の支給範囲を22歳未満の子に拡大
- ・嘱託社員に対する寒冷地手当について社員と同額を支給
- ・インフルエンザ予防接種費用の対象に配偶者を追加

※各項目の詳細については別途整理となります。

2019 JR 総連春闘交渉 最終報告

中央本部は第4回交渉以降断続的に折衝・交渉を行ない、本日18時45分から最終交渉に臨みました。席上会社は①平成31年度新賃金については定期昇給について4号俸を実施する。②ベースアップ200円を実施する。③55歳以上の社員については基本給ベアを含む3,200円を加算する。④契約・臨時社員は基本給に定昇相当分（2.23%）+ベア200円を加算する。⑤嘱託社員及び常勤嘱託については基本給にベア200円を加算すると回答しました。

また諸要求については、①扶養手当の支給範囲を22歳未満の子に拡大する。②嘱託社員に対する寒冷地手当について社員と同額を支給する。③インフルエンザ予防接種費用補助の対象に配偶者を追加することを明らかにしました。またカフェテリアポイントについては20,000ポイントを来年度も継続して付与することも確認しました。

会社の回答に対して中央本部は、①要求額から見れば不満であるが、2年連続でベアを実施するという判断について、責任組合として受け止める。②これまで災害対応を担ってきた組合員との想いと経営陣の認識の乖離は大きい。組合員の苦労に報いるような施策を求める。③4月からは新人事制度がスタートするが、特に評価制度について期待よりも不安の声が多く出されている。不安に対するフォローと継続した労使協議を求める。④グループ会社を含めJR貨物が安全で安心して働ける企業とするために安全の確立と、人材確保にむけて努力することを求め、今春闘について妥結することとしました。

組合員の皆さん！2月14日の申し入れ以降、ベアを獲得するために各職場において創造的に闘いをつくり出し、全ての組織が一体となって春闘を推し進めてきました。その結果、2年連続のベアを獲得し、諸要求についても一定の前進を勝ち取ることができました。

JR貨物労組はこれからも組織の総団結をもって、組合員の職場と仕事と生活を守ることを基軸に闘いをつくり出していきます。4月から新たな人事制度がスタートし、これまで以上に職場の組織力が問われます。春闘の総括をしっかりと行ない成果と課題を明確にして、組織の更なる強化をはかろうではありませんか。中央本部はその最先頭で闘うことを明らかにして、2019 JR 総連春闘交渉の最終報告とします。

以上